



東中学校だより(8) 令和7年1月10日

# 麓あかくそびえて建てり

校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392 文責:傳田史和(教頭)



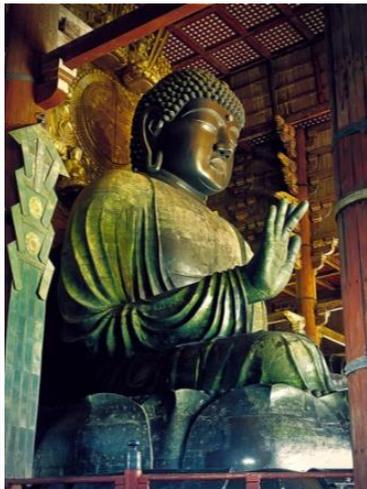
## 3学期始業式<校長講話>

「行く一月、逃げる二月、去る三月」と言うように四月までのこの三か月はまたたく間に過ぎ去ってしまうことでしょう。48日と一番短いですが、“根をはる” 三学期にしましょう。

2025年がスタートしました。そして、東中学校も今日から3学期がスタートしました。3学期は48日という短い学期ですが、本年度のまとめをするとともに、次のステージの準備をする大切な学期となります。

新たな決意のもと、「目標」を立て、すでにそのための「計画」を立て、スタートしている人も少なくないのではないかと思います。3年生は、自己の進路実現にむけて、この休みも決意をもって学習に取り組んだ人が多かったのではないかと思います。1年生は、先輩になるにあたり、新たな決意のもと、新しい年をむかえたのではないのでしょうか。そして、2年生は、引き継いだ生徒会の運営準備や、4月に行われる修学旅行にむけて、決意をもって最上級生になる準備を始めているのではないかと思います。

今日は、今2年生が進めている修学旅行の準備に添えて、「如来」と「明王」のお話をしたいと思います。



この仏像は知っていますよね？ 奈良の大仏(毘盧遮那仏 びるしゃなぶつ) 奈良の大仏は「如来」です。「如来」は、“悟り”を開いた人をさします。お釈迦様のように、悟り開き、衆生(生命のあるすべてのもの)を救済する方です。3年生は、すでに学習しているのでわかると思いますが、如来の尊称がつく、釈迦如来、薬師如来、阿弥陀如来、大日如来などの仏像をみると、悟りを開いたその姿は、非常に穏やかな表情です。そして、装飾品を一切つけず布一枚ですが、内からあふれ出す後光(後背)が光輝いています。

一方、これは「不動明王」の像ですが、皆さんどういったイメージを持ちますか？明王は一般的に忿怒(ふんぬ)の相で火炎を背負い、髪は怒りによって逆立ち、法具や装飾品は極力身につけず、法衣は片袖を破って動き易くし、武器類を手を持った姿で表現されることが多いです。しかし、“憤怒の相”は単なる怒りを表現したものではないと言われます。もちろん、「仏界を脅かす煩惱や教えを踏みこむ悪に対する護法の“怒り”を表している表情」も、この憤怒の表す1つといわれますが…

煩惱に溺れる者への内心の“悲しみ”の表情。まちがった道に進む者を、“必死に救おうとする”表情とも言われています。そこには、厳しいけれど、「その人のことを思う気持ち」が込められているようです。この話を聞くと、私は厳しく指導してくれた人々を思い出し、感謝の念をもちます。…優しく寄り添ってくれる人と同様に、自分のことを思って厳しく接してくれる人も大切にしたいと感じるのです。

厳しい冬の寒い時期は、“根をはる”のに最も大切な時期です。「部活動」でも、「勉強」でも、「冬場が一番伸びるとき」です。その冬場を鍛えることで、きっと、目標としていたことが花開くだろうと思います。

寒い日がしばらく続きますが、3学期のスタート、大いに頑張りましょう！



## 不安や悩みはいつでも気軽に相談しよう！

人間だれしも時には不安にさいなまれるものです。そんな時は、「学校の先生」「お家の方」に話してみましよう。でも話しづらい…そんな時でもあなたの不安な気持ちを話せる場所があります。

○学校生活相談センター 0120-0-78310 (24時間対応)

○長野県こども支援センター 0800-800-8035 (月~土10:00~18:00)

〔長野県教育委員会 心の支援課〕